

令和2年度事業報告並びに収支決算

公益社団法人千葉県獣医師会定款第2条に規定する目的を達成するため、定款第3条に規定する事業として、令和2年度において次に掲げる事業を実施した。

公益目的事業1：人と動物の共生する社会環境の健全な発展を目的とする事業

本事業は、人と動物の共通感染症を予防し公衆衛生の向上を図り、また、動物の習性や正しい飼い方を啓発し、動物の愛護精神を高揚し人と動物が安心して暮らせる社会環境を整えていくと共に、家畜の伝染病等や食中毒等を予防し、安全・安心な畜産物を生産・流通させることにより、県民の食生活の向上に寄与することを目的とし、次の事業を行った。

1. 公衆衛生の向上に関する事業

人と動物の共通感染症である狂犬病は、罹患した犬等に咬まれることにより人が感染し発症するとほぼ100%死亡する大変恐ろしい病気である。事業は、厚生労働省局長通知に基づき県・市町村・獣医師会が連携の基、的確に推進するため獣医師会と市町村が契約し、通常、毎年4月から6月の間に各市町村における実施日時・場所を広報し、狂犬病予防定期集合注射接種及び新規接種犬の登録と狂犬病予防注射接種済票の交付並びに継続接種犬への狂犬病予防注射済票を交付してきたが、本年は、新型コロナウイルス蔓延の影響で市町村により、中止もしくは、9月以降に実施している。また、予防注射を受けた犬がアナフィラキシーに陥るなどの事故が発生した場合に、損害賠償も含めて適切に対処を実施している。

人と動物の共通感染症については、獣医師会のホームページに公開するとともに市民公開講座等を通じて予防対策の普及・啓発を図った。

(1) 狂犬病予防定期集合注射事業

【実施実績】

注射実施頭数	令和2年度	令和元年度
	12,107頭	62,613頭

※ 詳細は別途掲載『令和2年度狂犬病予防集合注射実施頭数（市町村別）』参照

(2) 畜犬登録促進指導事業

【実施実績】

指導登録頭数	令和2年度	令和元年度
	1,604頭	1,725頭

※1 契約締結市町村数：21市町

※2 詳細は別途掲載資料『令和2年度畜犬登録促進指導事業実績』参照

(3) 会員病院における犬の病院登録業務（鑑札・済票交付）委託事業

【実施実績】

病院登録頭数	令和2年度	令和元年度
	鑑札 2,022頭、済票 24,202頭	鑑札 1,795頭、済票 19,265頭

※1 契約締結市町村数：3市（千葉市、旭市、市原市）

※2 詳細は別途掲載資料『会員病院における犬の病院登録業務委託事業』参照

2. 動物の保護活動事業

動物愛護・保護精神の醸成、犬猫殺処分ゼロの実現、傷病野生鳥獣や負傷動物の救護並びに動物福祉思想の啓発、福祉介護犬の健康管理と治療費軽減等による社会福祉への貢献などの公益活動を推進した。

(1) 動物愛護精神の啓発・普及推進事業

例年、動物愛護週間行事の一環として県や市町村・日本獣医師会・各地域獣医師会等が開催する動物フェアに共催・協力し、動物のしつけ方や健康相・獣医師体験等を通じて動物の正しい飼い方、保護管理等について啓発してきたが、本年は、新型コロナウイルス蔓延の影響で全て中止とされた。

【実施実績】

行 事	内 容 等	
日獣 2020 「動物感謝デー」	出展	中止
千葉県 「なかよし動物フェスティバル」	後援・協賛	中止
千葉県 「柏の葉公園オータムムフェスタ 2020」	協力	中止
柏市 「なかよし動物フェスティバル」	共催	中止
千葉市 「動物愛護フェスティバル」	共催・協賛	中止
船橋市 「なかよし動物フェスティバル」	共催	中止

(2) 飼い主のいない猫不妊去勢事業

飼い主のいない猫の繁殖を防ぎ猫の殺処分の減少を図るため、市町村が実施する不妊去勢手術等の取組に係る経費を助成する事業について、市町村の委託により、本会動物病院で手術を実施する。

(本年度は、市町村からの本会会員病院への委託は、無かった。)

(3) マイクロチップ普及推進事業

日本獣医師会の動物適正管理個体識別登録等普及推進事業においてマイクロチップを埋め込んだ犬猫等の個体識別データを登録するデータベースに本会が動物の飼育者に代わってそのデータの登録申請を行う。

【実施実績】

申請受付概要	令和2年度	令和元年度
登録申請受付病院数	98	95
マイクロチップ登録申請数	1,281	866

※ 平成30年9月1日に日本獣医師会と個体識別データの登録に関する覚書を締結済み、平成30年11月6日より、登録申請受付事務開始、1頭当たり登録手数料：1,000円、10月1日より、消費税額変更により、1,050円

※ 別途掲載資料『令和2年度マイクロチップ登録実績』参照

(4) 傷病野生鳥獣救護事業（県委託事業）

千葉県からの委託事業で、県民が保護した傷病野生鳥獣を治療し回復するまでの一定期間保護をすることを通じて、広く県民に鳥獣保護思想の普及・啓発を図った。

【実施実績】

業務内容	令和2年度	令和元年度
保護・搬入された傷病野生鳥獣の応急処置	件数：鳥類262 獣類 12 件 死亡処理 0 件 費用：1,069,640 円（助成）	件数：鳥類398 件 獣類 36 件 死亡処理 1 件 費用：1,739,010 円（助成）

※ 鳥1件3,740円、獣1件7,480円、死亡処理1件1,155円、指定獣医師 63病院、65名

※ 別途掲載資料『令和2年度動物の保護活動関連助成一覧 傷病野生鳥獣救護』参照

(5) 負傷動物救護事業

飼養者不明な犬・猫等の動物が公共の場所で疾病に罹りあるいは負傷した場合、動物愛護センターに収容されるまでの間の救急診療を行った場合に、会員動物病院に対しその費用の一部を助成した。

ア) 県獣単独事業

【実施実績】

業務内容	令和2年度	令和元年度
保護・搬入された飼い主不明動物の応急処置	38 頭、175,840 円	45 頭、201,670 円

※ 1頭当たり助成額：上限5,000円（保護した人等の診療費用軽減：動物病院へ支出）、対象：開業会員病院

※ 別途掲載資料『令和2年度動物の保護活動関連助成一覧 負傷動物救護』参照。

イ) 柏市委託事業

【実施実績】

業務内容	令和2年度	令和元年度
保護・搬入された飼い主不明動物の応急処置	12 頭、109,071 円	2 頭、22,156 円

※ 診療内容ごとに単価設定あり。対象：柏市内開業会員病院、柏市に隣接する市内開業正会員病院

※ 別途掲載資料『令和2年度動物の保護活動関連助成一覧 負傷動物救護（柏市委託事業）』参照

(6) 福祉介護犬医療助成制度

盲導犬・聴導犬・介助犬の健康管理及び保持を目的として、診療費の一部を助成し、専門家としての技術提供並びに助言指導を行った。

【実施実績】

事業内容	令和2年度	令和元年度
盲導犬・聴導犬・介助犬の健康診断及び治療費助成	27 頭、660,081 円	10 頭、220,680 円

※ 1頭当たり年間上限額 治療費：45,000円、健康診断：10,000円、狂犬病予防注射2,950円、対象：開業会員病院

※ 別途掲載資料『令和2年度動物の保護活動関連助成一覧 福祉介護犬医療』参照

(7) 動物介在活動支援事業

動物介在教育（AAE）、動物介在活動（AAA）及び学校飼育動物指導等の活動に協力・支援する事業として、新たに動物介在活動支援事業を立ち上げたが、新型コロナウイルス蔓延の影響で、病院訪問や読み聞かせ等の活動は、中止された。しかし、動物飼育を教育に取り入れる小学校等に対し、正しい動物の飼い方についての指導等を行い、命の大切さ・動物愛護精神の醸成等情操教育を支援する活動は、各支部が、市町村教育委員会等からの委託・要請に基づいて対応した。

3. 安全な畜産物及び食品の生産・流通に関する事業

産業動物の伝染病予防・診療・治療等の業務に携わる獣医師の獣医療技術の研鑽を図り、畜産農家の伝染病予防、家畜の衛生管理の向上、家畜の損耗防止等を指導することにより畜産の振興並びに安全・安心な畜産物の生産・流通を図り、国民食生活の向上に努めた。

(1) 畜産関係研修事業

公職農林部会並びに共済部会に所属する産業動物、畜産関係獣医師で構成される千葉県家畜衛生職員会及び千葉県農業共済組合が行う研修会等に対し費用の一部を助成し、畜産技術者の衛生技術の習得に寄与した。

【実施実績】

ア) 公職農林部会（千葉県家畜衛生職員会）

講習会の開催、学会等参加が予定されていたが、豚熱及び高病原性鳥インフルエンザ対応のため中止された。

イ) 共済部会（千葉県農業共済組合連合会）

開催月日	会議名等	開催場所等
令和2年10月13日（水）	紫葉会研究発表会 Web 開催 研究発表 :16 題	場所：中央家畜診療所 参集範囲：農業共済獣医師他参加：56名

(2) 畜産振興事業

県内畜産関係団体等が主催する家畜共進会、畜産物消費拡大イベント等に協賛もしくは共催するの併せて獣医師会長賞を交付し、畜産の振興・発展を図った。

【実施実績】

開催月日	共進会等名	主催団体	内容
令和2年10月1日（木）	第11回チバザビーフ枝肉共励会	チバザビーフ共励会	負担金
令和2年10月6日（火）	令和2年度千葉県肉豚共進会	(公社) 千葉県畜産協会	協賛（副賞）
令和2年10月21日（水）	第14回千葉県畜産フェア	千葉県畜産物消費拡大協議会 (千葉県畜産フェア実行委員会)	後援・協賛 (Web 開催)
令和2年10月30日（金）	馬事振興対策協議会 三里塚特別競走表彰式典	(公社) 千葉県畜産協会	負担金
令和2年10月31日（土）	第19回安房郡市乳牛共進会	安房郡市農林業振興協議会	協賛（副賞）

(3) 獣医公衆衛生事業対策推進事業

公職衛生部会に所属する保健所や食肉衛生検査所に勤務する獣医師で構成される千葉県食品衛生研究協議会、千葉市食品衛生研究協議会及び千葉県食肉衛生検査所協議会が実施する講習会の開催、学会等参加が予定されていたが、新型コロナウイルス防疫対応のため中止された。

(4) 野生獣衛生推進体制促進事業（中央畜産会助成）

家畜衛生関係者を中心とした野生獣被害の情報発信体制を構築、推進するとともに、野生獣被害の主となるイノシシ及びシカについての衛生実態を把握し、畜産農家等の飼養衛生管理に対する意識の向上を図り、野生獣衛生対策の推進に取り組んだ。

【実施実績】

地域衛生技術連絡協議会開催 7月30日 参加者32名、1月21日 参加者21名
野生獣関連感染症、防除対応等講習会 3月14日 講演演題名：野生獣と人獣共通感染症の現状と課題
野生獣の衛生実態等調査 検体：シカ16頭（鴨川市）、6疾病検査（東京農工大学）
助成額：2,089,673円

4. 人と動物の絆（ヒューマン・アニマル・ボンド）の確立を目指す事業

人と動物の共生に関する保健衛生の向上、動物の愛護・福祉の増進並びに自然環境の保全を目的とした普及・啓発活動を行った。また、“One World One Health”理念の実践に向けて、市民から専門家（学校教育関係者、動物看護師、獣医師等動物取扱関係者）に至る広範囲な職種を対象とした保健衛生（人獣共通感染症の予防等）の向上、人と動物の愛護及び福祉（災害時の動物救護、介助犬の保護等）並びに自然環境の保全（野生動物救護、傷病鳥獣の保護等）を目的として公開講座、講習会・セミナーを開催した。

（1）公開講座、講習会・セミナーの開催

市民から専門家（学校教育関係者、動物看護師、獣医師等動物取扱関係者）に至る広範囲な職種を対象とした保健衛生（人獣共通感染症の予防等）の向上、人と動物の愛護及び福祉（災害時の動物救護、介助犬の保護等）並びに自然環境の保全（野生動物救護、傷病鳥獣の保護等）を目的として公開講座、講習会・セミナーなどを開催したほか関係機関・団体等の主催したセミナー等を共催した。

【実施実績】

ア) 県獣主催セミナー等開催状況

開催月日	セミナー名等	開催場所	内 容
令和2年 8月 2日(日)	県獣医師会・ 県医師会 合同セミナー		新型コロナウイルス防疫対応のため中止
令和2年 10月 25日(日)	学術セミナー	Web セミナー	演題：慢性下痢の診断アプローチと治療 Update2020 講師：東京大学動物医療センター・内科系診療科 獣医内科学研究室・准教授 アジア獣医内科専門医 大野 耕一 先生
令和2年 11月 20日(金)	技術セミナー (眼科) 看護師向	Web セミナー	演題：動物看護師のための眼科学 ～よくわからないを克服しよう～ 講師：アニマルアイケア・東京動物眼科醫院 小林 義崇 先生 森 彩菜 先生
令和2年 12月 6日(日)	技術セミナー (眼科) 獣医師向	Web セミナー	演題：症例から学ぶ眼科疾患 ～眼科診察のリアル～ 講師：アニマルアイケア・東京動物眼科醫院 獣医眼科学専門医 小林 義崇 先生
令和3年 1月 24日(日)	第1回学術シリー ズセミナー (兼務) 日本獣医師会 小動物臨床講習会	Web セミナー	演題：犬と猫の肝胆臓における炎症性疾患 講師：日本大学, 生物資源科学部, 獣医内科学研究室, 教授坂 井 学 先生
令和3年 2月 28日(日)	第2回学術シリー ズセミナー	Web セミナー	演題：犬と猫の肝胆臓における炎症性疾患 Update 講師：日本大学, 生物資源科学部, 獣医内科学研究室, 教授坂 井 学 先生

イ) 地域ブロック主催セミナー開催状況

講習会の開催が予定されていたが、新型コロナウイルス防疫対応のため中止された。
そのため、各ブロックの要望に沿って県獣主催セミナーの演題を選択し、開催に代えた。

(2) わんわんパトロール運動推進事業

本会は、学童等を犯罪から守ることを目的として、千葉県警察本部が実施する「わんわんパトロール」運動に会員動物病院の参加を得て協力し、安全・安心な社会づくりに貢献した。

【実施実績】

登録受付概要	令和2年度	令和元年度
参加登録受付病院数	151	133
協力隊員（飼い主）数	785	712
見守りたいワン隊員（犬）数	1007	901
助成件数 (マイクロチップ装着及び健康診断)	140	229
助成額（円）	146,500	242,000

※1 平成30年度より新規事業として開始

※2 社会福祉委員会でわんわんパトロール運動の参加協力方検討、実施要領及び隊員特典並びに費用試算

登録した犬に1頭に対して、1回の登録期間3年間において、会員病院でマイクロチップ装着や定期健康診断に要する費用の一部を助成する助成券を交付する。

マイクロチップ装着助成券：(1回分1,500円、1枚)、健康診断助成券：(1回分：1,000円、3枚)

※3 平成30年6月12日に千葉県警察と協力協定を締結済後、事業を開始

公益目的事業2：学術の振興を目的とする事業

1. 学会の開催及び参加

小動物・産業動物・公衆衛生の各分野で働く獣医師が、日頃の業務を通じて研究・調査した事例等を学会の場に報告し、意見交換を行い技術の伝達・普及を図ることを目的として千葉県獣医師会獣医学術年次大会を開催した。また、動物への適切な獣医療技術を提供し、動物の愛護、福祉の向上に寄与することを目的として、会員が他の団体等が主催する学会に参加し技術の習得に努めることを支援した。

(1) 県獣医師会「獣医学術年次大会」(第5回)

開催状況	備考
平成27年度から、従来の研究発表会と県獣学会を統合し、獣医学術年次大会として開催した。 ※県獣学会としては第44回目 ・研究発表 23題 ・特別講演 薬剤耐性対策の事例紹介 演題1：小動物臨床現場での状況とAMR対策について むらた動物病院 村田 佳輝 (先生) 演題2：主な薬剤耐性菌の検査法と薬剤感受性率(アンチバイオグラム)の利用方法について サンリツセルコバ検査センター 露木 勇三 (先生) ・市民公開講座 野生獣と人獣共通感染症の現状と課題 ～新型コロナウイルスを中心に～ 東京農工大学 水谷 哲也 (先生)	令和3年3月14日(日) 場所：TKP ガーデンシティ千葉 (カンデオホテルズ内) 3階「シンフォニア」 オンラインにより配信

(2) 日獣・関獣連学術年次大会

関東・東京合同地区獣医学術学会・大会への参加(栃木県獣医師会主催)、日本獣医師会獣医学術学会・年次大会への参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止対応のため中止、延期とされた。

収益を目的とする事業

1. 収益事業

(1) 獣医療証明書等販売収入

項 目		内 容	備 考
購 販 売	1 物品購販売収入	予防接種証明書 (A)	
		〃 (B)	
		動物用医薬品指示書	
		狂犬病予防接種済証	

(2) 施設等使用料

項 目		内 容	備 考
使 用 料	2 家 賃	(公財) 千葉県動物保護管理協会	県獣会館3階
		千葉県獣医師会	県獣会館3階
		サンリツセルコバ検査センター	県獣1階
3 施設賃貸	県獣会館使用料等	会議室等	

(3) 開業部会保険加入取扱手数料等

項 目		内 容	備 考
手 数 料	4 保険事務取扱手数料	獣医師損害賠償責任保険： 損保ジャパン日本興亜(株)	事務受託
		メットライフ生命保険(株)※任意加入	事務受託
	5 クレジットカード	(株)クレディセゾン、千葉興銀UCカード	発行取次手数料

(4) その他

項 目	件数	対象セミナー
① 日本獣医師会生涯学習事業 (ポイント取得)	4	① 令和2年10月25日(日) 県獣学術セミナー ② 令和3年1月24日(日) 学術シリーズセミナー 第1回 ③ 令和3年2月28日(日) 学術シリーズセミナー 第2回 ④ 令和3年3月14日(日) 獣医学術年次大会

2. 広告等掲載料

会報及び県獣医師会獣医学術年次大会要旨集に企業等からの協賛広告を掲載した。

会報：夏季号 15 件、春季号 16 件、大会要旨集：15 件

その他の事業

1. 開業部会相互扶助等活動事業

開業部会の円滑な運営、正会員の相互扶助及び親睦等を目的として次の事業を実施した。

種類等	内 容	目 的	実績等（前期）
1. 保険事業	獣医師賠償責任保険への加入	会員動物病院の敷地内及び建物内等で、受診目的で来院した動物に対して、病院スタッフの失宜もしくは診療事故等により損害を与えた場合に賠償する目的で加入する保険の掛け金を獣医師会で負担する。	損害保険ジャパン日本興亜(株) 加入件数： 338 件
2. 福祉厚生事業	(1) 慶弔事業	会員又は同居する一親等親族が死亡した場合に弔慰金の支給、献花、弔電を送る。	6 件
	(2) 緊急災厄支援事業	会員又は同居する一親等親族が非常の災厄に遭遇した場合に、規程により被災見舞金を支給する。	該当なし
	(3) 療養等見舞金	満65才未満開業部会所属の正会員が14日以上療養で診療業務に従事することが出来なくなった場合に対して、規程により療養見舞金を支給する。（支給は1回限り）	3 件
	(4) 遺児育英支援金	開業部会所属の正会員が死亡した場合、正会員と一親等の続柄にある満20歳以下の遺児に対して、規程により遺児育英支援金を支給する。（支給は1回限り）	該当なし
3. 親睦事業	(5) 親睦活動の実施	開業部会会員が、相互の親睦と連帯を目的として行う行事に対して予算の範囲内で費用の一部を助成する。	未実施